

(テーマ) ラポール(心の架け橋)で創る“みんなが夢中になれる瀬田川”

氏名： 眞田 拳奨  
 作成日：2017年4月25日

<p>背景(と昨年度の課題)</p>	<p>(背景)          私はボート部員として瀬田川を利用して、毎日瀬田川に寄り添っていることを何かに生かせないかと考えていた。そこで瀬田川関係者がお互いの活動を理解し、思いやることでそれぞれの利用者としての自覚を高めるとともに、お互い快く瀬田川に集い、瀬田川の環境を守りながらそれぞれが自分達の活動を行えるような環境が創れるのではないかと感じた。</p> <p>(昨年度の課題)          昨年度はレンジャーとしての活動を開始し、ミッション第1段階の活動を中心に活動展開できた。しかし関係者との交流を通して新たな課題が見つかった。          ・アダプト制度の適用についての検討が不十分であった。          ・ヒアリングについて、各団体との交流に留まり、具体的な活動や思いについて聴取しきれなかった。</p>
<p>実施目的</p>	<p>(ビジョン)          ・瀬田川利用者が相互理解の中で夢中なものに向き合える瀬田川になること。          ・瀬田川利用者がどういった活動をしているのか互いに知ることによって交流を育み、互いに思いやり快く利用し合える関係が出来ること。          ・瀬田川関係者が理想の瀬田川について考え、利用者間、利用者行政間で適切な連携をとってその実現に向かうことが出来ること。</p> <p>(ミッション)          第1段階          ・他種利用者を繋げるために、まずは私自身がヒアリング等を通してどのような利用者があるか、それらの利用者がどのような活動をしているのかを把握する。          ・レンジャーである私が利用者とのラポール(心の架け橋)構築を行い、利用者の瀬田川への思いや瀬田川での日常をより深くまで聞き取れるようになる。</p> <p>第2段階          ・私が架け橋となって、瀬田川で夢中なものに向き合っている人同士を繋ぐような場を作る。          ・瀬田川で何かに夢中になっている人同士がお互い何に夢中になっているのかということを知り合うためのツール、しくみを作る。</p> <p>第3段階          ・利用者がそれぞれの理想とする瀬田川について意見交換を行い、そのために何が出来るのかを考える場を作る。          ・利用者が主体的に協力して瀬田川をより良くするような活動を行うことを支援し、行政と適切な連携をとれるよう間に入る。</p>
<p>今年度の成果目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の利用状況の把握と集計</li> <li>2. 利用者との顔の見える関係作り</li> <li>3. 活動の継続性・連続性の方策の検討</li> </ol>

<p>内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 瀬田川関係者(瀬田川漁協、石山寺観光協会、琵琶湖漕艇場、ボート部、カヌー部、釣り人)についてどのような活動を行っているのかの概要を把握する(最低5団体)。そのヒアリング内容を情報として整理、集計する。</li> </ol>
-----------	---

	<p>2. 琵琶湖河川レンジャーとして自分の存在を認知してもらい、連携出来る関係を作る。それをもとに今年度はミッションの第2段階にあるように、イベントなどの機会に活動ジャンルの違う団体同士を紹介することで繋がりを仲介したい。</p> <p>3. 活動を部内や関係者で引き継いでいけるよう、人材発掘やレンジャートライアル制度を利用した育成、これまでの活動情報・ネットワークの情報をまとめる。</p> <p>※今年度の成果目標と対応させて記入ください</p>																																																	
対象	瀬田川利用者及び管理関係者																																																	
工程計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="331 504 510 548"></th> <th data-bbox="510 504 587 548">4月</th> <th data-bbox="587 504 663 548">5月</th> <th data-bbox="663 504 740 548">6月</th> <th data-bbox="740 504 817 548">7月</th> <th data-bbox="817 504 893 548">8月</th> <th data-bbox="893 504 970 548">9月</th> <th data-bbox="970 504 1046 548">10月</th> <th data-bbox="1046 504 1123 548">11月</th> <th data-bbox="1123 504 1200 548">12月</th> <th data-bbox="1200 504 1276 548">1月</th> <th data-bbox="1276 504 1353 548">2月</th> <th data-bbox="1353 504 1463 548">3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="331 548 510 698">利用者の利用状況の把握と集計</td> <td colspan="2" data-bbox="510 548 817 698">利用者へのヒアリング (最低5団体)</td> <td colspan="3" data-bbox="817 548 970 698"></td> <td colspan="6" data-bbox="970 548 1463 698">聴取内容の整理と集計 (テープおこし、抽出)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="331 698 510 871">利用者との顔の見える関係作り</td> <td colspan="2" data-bbox="510 698 663 871">適宜イベント参加</td> <td colspan="3" data-bbox="663 698 817 871">アダプト制度の検討</td> <td colspan="6" data-bbox="970 698 1463 871">ネットや冊子を用いての情報共有</td> </tr> <tr> <td data-bbox="331 871 510 1057">活動の継続性・連続性の方策の検討</td> <td colspan="2" data-bbox="510 871 663 1057">部内での人材発掘</td> <td colspan="3" data-bbox="663 871 970 1057">レンジャートライアル制度の活用</td> <td colspan="6" data-bbox="970 871 1463 1057">引継ぎ項目の検討 情報整理</td> </tr> </tbody> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	利用者の利用状況の把握と集計	利用者へのヒアリング (最低5団体)					聴取内容の整理と集計 (テープおこし、抽出)						利用者との顔の見える関係作り	適宜イベント参加		アダプト制度の検討			ネットや冊子を用いての情報共有						活動の継続性・連続性の方策の検討	部内での人材発掘		レンジャートライアル制度の活用			引継ぎ項目の検討 情報整理					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																						
利用者の利用状況の把握と集計	利用者へのヒアリング (最低5団体)					聴取内容の整理と集計 (テープおこし、抽出)																																												
利用者との顔の見える関係作り	適宜イベント参加		アダプト制度の検討			ネットや冊子を用いての情報共有																																												
活動の継続性・連続性の方策の検討	部内での人材発掘		レンジャートライアル制度の活用			引継ぎ項目の検討 情報整理																																												